

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日				
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年月		平成	年	月
レジメン名	5-FU+マイトマイシン						
疾患名	肛門管がん	適応の備考					
適応分類	進行・再発						
1コース日数	28	日間	総コース数	有効な限り	コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日 5-FU 1000mg/m ² /日 day1-4 マイトマイシン10mg/m ² day1							

投与順		ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	主ルート			/																															
	点滴静注	生食50mL ルートキープ用	1	本 / body	5 分	●																													
2	側管	生食100mL	1	本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1	本 / body	30 分	●	●	●	●																										
		Rp3の主ルート 5-FUと同時開始																																	
3	主ルート	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	5-FU	500	mg / m ²	12 時間	●	●	●	●																										
		Rp3・Rp4で、1日合計は1000mg/m ²																																	
4	主ルート	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	5-FU	500	mg / m ²	12 時間	●	●	●	●																										
		Rp3・Rp4で、1日合計は1000mg/m ²																																	
5	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																													
	点滴静注	マイトマイシン	10	mg / m ²		●																													
6	側管			/																															
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																													
7	主ルート			/																															
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body	5 分				●																										

【投与上の注意】

- ・day1のマイトマイシンは、Rp2のデキサート終了後に続けて側管から投与する。
- ・5-FU、マイトマイシンの両剤とも軽度催吐性だが、初回投与時等、患者の状態によっては、day1のみ中等度催吐性に準じた制吐剤を使用することも出来る。
- ・放射線を45～50.4Gry併用する。(1.8Gry/日)
- ・放射線治療終了後は、化学療法のみを28日毎に繰り返す。